

第 18 期第 5、6 回 地域農林経済学会常任理事会議事録

日時：2012 年 2 月 18 日（土） 15：00—18：40

場所：京都大学農学研究科 生物資源経済学専攻第 1 会議室

議長：小田滋晃

出席者：荒山裕行、伊庭治彦、宇山満、浦出俊和、大西敏夫、加賀爪優、岸本裕一、仙田徹志、高田理、辻村英之、中村貴子、中塚雅也、福井清一、古塚秀夫、増田佳昭、横溝功（以上 16 名、五十音順）

1 加賀爪会長より開会の挨拶がなされた。

【議題および報告】

(1) 理事会・総会の議事録署名欄の確認

伊庭庶務担当理事より資料に基づき報告があった。

(2) 2011 年度愛媛大会の結果・改善点について

伊庭庶務担当理事より、大会受付者数、大会収入に関して、資料に基づき報告があった。横溝企画担当理事より、参加者数の報告があった。個別報告への参加人数等については次回以降に報告がなされることとなった。浦出会計担当理事より、資料に基づき愛媛大会の大会決算報告について報告があった。

(3) 除籍者（2011 年度末）取り扱いの最終確認について（組織広報）

岸本組織担当理事、および中塚組織担当理事より、資料に基づき報告があった。なお、穆月英氏については、理事会・総会資料から修正され、普通退会になったことについて報告があり、確認された。

(4) 年間スケジュールの確認について

伊庭庶務担当理事より、年間スケジュール案について報告があり、了承された。また、第 3 回実行委員会、第 7 回常任理事会は 4 月 21 日（土）、第 4 回実行委員会、第 8 回常任理事会は 9 月 30 日（日）に行うことでも了承された。

【第 6 回分の議題および報告】

(1) 学会賞特別賞表彰規程および同細則の改訂について

福井副会長より、学会賞特別賞表彰規程および同細則の改訂について、資料に基づき報告があり、審議の結果、学会賞特別賞表彰規程は改正せず、同細則のみの改正し、理事会メール稟議にかけることでも了承された。理事会決定の後に細則の改正内容については、学会誌上、ホームページ上での告知を行い、学会費請求時の添付を検討することも確認された。

(2) 2012 年度大会について (企画)

増田企画担当理事より、2012 年度大会の企画について報告があり、審議の結果、スケジュールについては原案通り了承された。また、大会講演は震災関連のテーマの講演を行うこと、ならびに大会セッションについては、前大会と同様の方針で行うことが確認された。ただし、大会セッション報告の個別報告論文としての投稿の取り扱いについては、大会セッションの位置づけを明確にすることも含め、企画担当が編集担当と協議の上、周知内容を検討することで了承された。

引き続き、増田企画担当理事より、以下の二点の企画運営上の業務内容の変更について、資料に基づき説明があった。第一は、個別報告論文の関連業務の簡素化であり、既存の個別報告受付の機能に加え、報告時のプレゼンファイル、および大会前提出原稿も添付できる機能を追加的にフォームメーラに実装し、プレゼンファイルは企画担当から開催校に一括送付することを検討したい旨の報告があり了承された。なお、大会前提出原稿の座長への送付は、現行通り、報告者が直接送付することとした。

第二の個別報告優秀賞の取り扱いについては、学会誌研究論文への推薦を廃止する細則改正案が提示された。審議の結果、同案は決定され、細則改正案を理事会メール稟議に上程することとなった。また、細則が改正された場合、個別報告優秀賞審査にかかわる中西印刷への印刷業務の発注を中止することが述べられた。また、大会開催にかかわる印刷業務は、企画担当と開催校が協議することが確認され、その他の事項については、原案通り、企画担当にて進めることで了承された。

(3) 2011 年度決算等について (会計)

浦出会計担当理事より、資料に基づき報告があり、了承された。

(4) 学会誌編集状況について (編集)

荒山編集担当理事より、編集状況について資料に基づき報告があり、了承された。

中村編集担当理事より、J-STAGE について報告があり、100 本以上になると J-STAGE 掲載にかかわる単価が下がることが述べられ、現状では 100 本超となるには 2 年程度の期間を要し、J-STAGE による一般公開との差別化も図られることから、100 本超を発注の目安として行うことが提案され、了承された。なお、J-STAGE の掲載にかかわり、2 年に一度、30 万円程度の予算が必要であること、及び J-STAGE2 から J-STAGE3 への移行にかかわり新たな追加費用の発生する可能性が述べられ、J-STAGE の維持管理コストと費用負担のあり方については、今後の検討課題として、常任理事会にて審議することが確認された。

荒山編集担当理事より、小特集については震災関連の特集が企画案として固まり、執筆依頼の段階であることが述べられた。大会講演と執筆者が重複しないように、企画担当との調整を行いつつ進めることが確認された。

荒山編集担当理事より、本年の大会講演の依頼原稿について超過ページが発生していることが報告され、その費用負担の一部を学会負担で行うことで了承された。また、大会講演原稿について、大幅な超過が発生しないように事前の説明に工夫が必要であることが述べられた。

(5) 会員の異動等について（組織）

岸本組織担当理事より、資料に基づき報告があり、了承された。小田庶務担当理事より、開催校の学長である徳永光俊氏が新規入会予定であること、横溝企画担当理事より、堂谷祐介会員が2011年度末での退会手続きを終えていることが報告された。

(6) 次期の理事選挙のため選挙管理委員会の発足について（庶務）

伊庭庶務担当理事より、次期の理事選挙のため選挙管理委員会を発足させることが報告された。

(7) 中西印刷との業務委託契約見直しについて（会長・副会長）

加賀爪会長、高田副会長、福井副会長より、資料に基づき報告があった。次年度も引き続き交渉も行うが、中西印刷との価格交渉を行うことは難しく、代替案を立てることも必要であることが報告された。また業者委託先の変更も念頭に入れ、各担当の業務の見直しを行うべきである、という意見が出された。

(8) 投稿規程について（編集委員会）

荒山編集担当理事より、投稿規程は「農林業問題研究」に掲載済みであること、ならびに現状では、学会ホームページにも投稿規程は掲載されているが、J-STAGEにも掲載する方向で検討していることが報告された。

(9) ホームページの移行について（組織）

中塚組織担当理事より、学会ホームページの移行、リニューアルについて、資料に基づき報告があり、ドメイン名については <http://a-rafe.org/> とすることで決定された。新サーバー移転は2月中には完了する旨の報告があった。また、ホームページのリニューアルについては、2つのプランが提示されたが、審議の結果、プラン1で進めていくこととなり、10万円程度の追加予算が了承された。

(10) その他

中塚組織担当理事より若手研究者の会が設置され、活動していることが報告された。

福井副会長より閉会の挨拶があった。